

外部有識者からの意見聴取の実施状況
(対象期間:平成29年4月1日～平成29年9月30日)

外部有識者の氏名・役職【赤坂 裕彦 委員・弁護士】 意見聴取日【10月31日】

意見聴取事項	意見等	意見等への対応
上半期自己評価結果をご覧いただき警察庁(本庁)の取組状況について、ご意見をお聞かせ下さい。また、取組状況について有効な方法があればご意見をお聞かせ下さい。	一者応札の改善策として、声かけや期間の延伸の工夫は必要と思いますが、案件ごとに、なぜ一者応札になったのかについて詳しく原因を調べて、その原因を取り除くことが必要です。システムの開発、納入をした初期契約業者が、保守契約はもちろん更新契約も一者応札していくケースは多くみかけますが、システムの排他的な仕様や部品調達の問題にも関係があるかと思っています。随意契約の価格交渉については、発注者側で独自に、受注者側の生産コストと利益について調査し、把握しておく必要があります。しかし、当該業者に直接尋ねることはすべきではないと思います。予定価格決定の参考にするために、応札が予定される業者から見積もりを取ることも、すべきではありません。発注者としては、情報、調査によって独自に見積もりを出す努力が必要です。複数者応札であっても、談合がある場合には、価格競争は有り得ません。落札率が限りなく100パーセントに近いこと、複数回の入札で一位不動の現象があることなどは留意すべきです。応札者がいつも同じ顔ぶれの場合、新規参入のための声かけは、特に必要です。	引き続き、一者応札の改善に向け、声掛け等効果的な対策に取り組むとともに、事前及び事後審査等を行い、その原因分析に努めていきます。随意契約における価格交渉については、実績や市場調査、他省庁等での類似案件の調査等情報収集を行い、適正な予定価格の作成に努めていきます。 一者応札案件に限らず、積極的な声掛け等を行い、新規業者の参入を促し公正性、競争性の確保に努めていきます。
平成29年度の計画では、地方支分部局における取組を推進するため、各種取組の強化を指示しているところでありますが、上半期における自己評価結果をご覧いただき、地方における取組状況につき、ご意見をお聞かせ下さい。	地方は業界が狭く、業者数にも限りがあるので、競争が働きにくく、談合も行われやすいので、他県の業者にも声かけをする必要があります。	引き続き、新規業者への声掛けを積極的に行ってまいりたい。
上記以外で警察庁の改善計画を推進する上で、今後の課題又は改善策につきまして、ご意見があればお聞かせ下さい。	警察庁の調達案件は、種類、個数それほど膨大というほどではないので、案件ごとに、具体的な問題点を整理し、次回の調達の際の教訓にし、次回調達前に対策を立てて実行していくことが必要であると思います。	引き続き、事前及び事後審査等を行い、問題点を抽出し、以後の調達の改善に努めていきます。

外部有識者の氏名・役職【松村 敏弘 委員・東京大学教授】 意見聴取日【10月31日】

意見聴取事項	意見等	意見等への対応
上半期自己評価結果をご覧いただき警察庁(本庁)の取組状況について、ご意見をお聞かせ下さい。また、取組状況について有効な方法があればご意見をお聞かせ下さい。	やるべき改革は着実に取り組まれており、改善が伺える。1社に限定される場合に直販証明書を提出させることは意味はあるが、本質的な改革は1社に限定されないような仕様にする。この観点からの改革は従来から取り組まれており、大きな改善があること、これ以上進めることは困難であることは承知しているが、今後も折に触れ可能性を検討されたい。	引き続き、仕様書の見直すべきところは見直し、今後も効果的な取組を推進していきます。
平成29年度の計画では、地方支分部局における取組を推進するため、各種取組の強化を指示しているところでありますが、上半期における自己評価結果をご覧いただき、地方における取組状況につき、ご意見をお聞かせ下さい。	地方への働きかけも着実に取り組まれており、改善が伺える。今後も取り組みの遅れた地区がある場合には、他地区や本庁との比較した数字も見せながら、継続的に自主的な取り組みを促して欲しい。	引き続き、地方において積極的な取組を推進していきます。特に電気契約は、随意契約実施の部局に対し、競争入札への移行に向けて個別に指導してまいります。
上記以外で警察庁の改善計画を推進する上で、今後の課題又は改善策につきまして、ご意見があればお聞かせ下さい。	今回挙げられた複数年契約化や一括調達の取り組みは合理的で、今後もこれ以外の事案でも、試行錯誤しながらより効率的な調達方法を探って欲しい。複数年契約化や一括調達は、効率性の観点から常に望ましいとは言えず、ケースバイケースなので、仮に一括調達や複数年化の問題が明らかになった場合には、今後個別の事案ごとに柔軟に見直すことも考慮する必要がある。	引き続き、複数年契約や一括調達に取り組むとともに、効率性についても検討し、問題があった場合は、個別の事案ごとに見直していきます。

外部有識者からの意見聴取の実施状況
(対象期間:平成29年4月1日～平成29年9月30日)

外部有識者の氏名・役職【水谷 章 委員・公認会計士/税理士】 意見聴取日【11月2日】

意見聴取事項	意見等	意見等への対応
上半期自己評価結果をご覧ください警察庁(本庁)の取組状況について、ご意見をお聞かせ下さい。また、取組状況について有効な方法があればご意見をお聞かせ下さい。	過去の経験の中から有効な取組を継続しつつ、小さな取組でも新しい試みを模索し実施していくことが大切だと思う。	引き続き、効果的な取り組みを推進し、新たな取り組みについても、検討していきます。
平成29年度の計画では、地方支分部局における取組を推進するため、各種取組の強化を指示しているところですが、上半期における自己評価結果をご覧ください、地方における取組状況につき、ご意見をお聞かせ下さい。	今までの取組により、大きな効果を上げている事例も多い。引き続き、部局間や他省庁での有効な取組について情報共有を進め実行してほしい。	引き続き、調達改善の取組について、研修や経理指導等を通じ、情報共有を図ってまいりたい。
上記以外で警察庁の改善計画を推進する上で、今後の課題又は改善策につきまして、ご意見があればお聞かせ下さい。	一者応札、随意契約等への取組と、調達の効率化は、相反する課題となる場合もある。案件ごとに柔軟に、より合理的な対応を取ることが求められる。	引き続き、一者応札、随意契約等の改善に取り組んでいくとともに、調達業務が非効率となるなど問題があった場合には、案件ごとに柔軟に見直していきます。

外部有識者の氏名・役職【竹谷 智行 委員・弁護士】 意見聴取日【11月2日】

意見聴取事項	意見等	意見等への対応
上半期自己評価結果をご覧ください警察庁(本庁)の取組状況について、ご意見をお聞かせ下さい。また、取組状況について有効な方法があればご意見をお聞かせ下さい。	随意契約の見直しを進めたことにより、件数が大幅に減少した。その結果、一者応札が増えているが、新規業者への声掛け、仕様書の見直し等により状況は改善しつつある。安易に随意契約に戻ることをせず、この状況を維持されたい。	引き続き、新規業者への声掛けや仕様書の見直しに取り組み、公平性、競争性の確保に努めていきます。

* 意見聴取順